

**いのちと暮らしの守り手**  
お悩みや相談は遠慮なく、市民と共に歩む高崎市議団へご連絡ください。

竹本 まこと 362-7466  
依田 よしあき 373-8317  
清塚 なおみ 347-0903

# 日本共産党 市議団だより

2012年 6月議会報告  
発行：日本共産党高崎市議団  
連絡先 議員控室 321-5757  
日本共産党西毛地区委員会  
電話 027-361-4511  
FAX 027-362-6775

## 子どもや保護者・現場の声を抑えて強行した 小・中学校等2学期制を3学期制に戻す

去る6月20日、総務・教育常任委員会において高崎市の小・中学校等の2学期制を3学期制に戻すことが教育委員会決定されたと飯野教育長より報告されました。

この常任委員会で竹本委員は、2学期制は保護者や子ども、現場の教師から多くの疑問や課題があり慎重な検討が求められていた。制度変更の犠牲は子どもたち、反省すべきは反省して再出発が必要だと指摘しました。

市教委の提案理由は、  
①2学期制の導入で期待された「授業時間の確保」は3学期制でも十分可能②長期休暇となる夏休み前に通知表を渡して子供や保護者に課題を明確に示せるなどの点を上げています。

しかし、これらの問題も3学期制のままでもできると言われていた問題です。また、小学校運動会の練習など暑い盛りになるため、熱中症などの心配もありました。推進してきた責任は免れません。

共産党議員団は一部議員が2学期制の導入を求めていたとき、竹本議員は疑問や課題を示し慎重な対応を求めてきました。(平成16年12月議会一般質問、3月教育福祉常任委員会での竹本質問)

法56条は「配偶者その他の親族が事業に従事したとき、その対価の支払いは必要経費に算入しない」・青色申告では給料を経費にできるが白色申告を認めないのは制度自体の矛盾であり法のものとの平等や財産権の侵害である。よって廃止を求める意見書を関係機関に提出を求めたもの。

### 所得税法第56条の廃止を求める・請願

家族従業者の人権保障のため、「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の採択を求める請願が、高崎民主商工会婦人部より提出されました。

法56条は「配偶者その他の親族が事業に従事したとき、その対価の支払いは必要経費に算入しない」・青色申告では給料を経費にできるが白色申告を認めないのは制度自体の矛盾であり法のものとの平等や財産権の侵害である。よって廃止を求める意見書を関係機関に提出を求めたもの。

### 請願趣旨

自営中小業者の家族従業者として、営業に携わりながら、所得税

### 国保税引下げ、運営改善等の請願不採択



高すぎる国保税をひき下げてほしい、国保の運営を改善して(資格証の廃止)安心して医療を受けられるように願いを込め、3月議会に引き続いて1506筆の署名を添え国保の請願が出されましたが、残念ながらもまたも共産党議員団を除く全会派の反対で不採択になりました。

民経済常任委員会で、請願の趣旨説明。基金は今まで使われていない、国保税引き下げは可能と採択を求めましたが他の全会派が反対してまたも不採択になりました。



依田議員採択を求め委員長報告に反対討論

請願に対する、委員長報告は不採択でした(日本共産党を除く)が採択を求め依田議員が討論を行いました。



竹本議員が請願の趣旨説明  
請願が審議された市

3番の「子ども・・・」意見書(案)は高崎市の保育連絡会から出されたもの。6番の「子ども・・・」意見書(案)は共産党市議団の提出(前橋市で全会派一致で採択された内容)

意見書審査表		○=採択 △=継続 ×=不採択						
意見書名	提出者	審査結果	新風会	たかさき市民21	公明党	新高崎クラブ	日本共産党	
1 所得税法第56条の廃止を求める意見書(案)	請願	×	×	×	×	○	○	
2 地方整備局の事務所・出張所の存続を求める意見書(案)	陳情	×	×	△	△	○	○	
3 「子ども・子育て新システム」に関する意見書(案)	陳情	○	○	○	○	○	○	
4 「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書(案)	公明党	△	○	○	○	○	△	
5 再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書(案)	公明党	△	○	○	○	△	△	
6 子ども子育て新システムの「安易な導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書(案)」	日本共産党	×	×	△	△	○	○	
7 子供と国民を守る放射能汚染対策を求める意見書(案)	日本共産党	×	×	○	△	○	○	
8 30人以下学級の実現および義務教育費の国庫負担制度の拡充を求める意見書(案)	日本共産党	×	×	△	△	△	○	



なほみニュース

市議会議員  
清塚なおみ

### 国保基金18億円の一部を

## 取り崩して保険税を引き下げよ

#### 6月議会 清塚議員が一般質問

「高すぎる保険税、いまこそ基金を取り崩し引き下げよ」。清塚議員は6月定例議会でも国保税問題を取り上げ、市に対し税の引き下げを求めました。また今年度から中学校の武道必修化の安全指導について市の取り組みを質しました。(要旨掲載)

質問 高崎市の保険税は、質問 国保金に18億円のお金が積 広域化は国保み立てられている。いまこ 保税の負担その基金を取り崩して 増、徴収強保険税を引き下げべき 化になる。だと考えるが見解を伺い 市の広域化たい。

答弁 長引く経済不況の 見解を伺い影響もあり被保険者の担 たい。

税力も厳しい状況と認識 答弁 県はもある。23年度の決算結 広域化に向果を分析したうえで国保 けての支援税の改定を検討する必要 策等を検討

実施に向け取り組んでいる。今後、国の動向を注視し広域化等連携会議の中で持続可能なつ市と被保険者にとつて最適な制度となるよう取り組んでいく。

質問 中学校武道必修化について伺う。高崎市は柔道を選択しているようですが、必修化に向けた安全な指導の取り組みは。

答弁 実際に授業を行う体育主任、柔道を専門とする教諭及び女子体育課担当教諭の代表を中心に指導計画書を作成中、安全な指導体制を確保するため関係団体の協力も頂ける。

倉賀野・矢中町の放射線量と学習会

清塚議員と伊藤県議を中心に「放射能と原発を考えるつどい」と題して地域の放射線量の測定結果の報告と原発の危険性を知る学習会が開催されました。「つどい」には倉賀野町で21人、矢中町で35人もの住民が参加するなど依然、関心が高いことが感じられました。

福島原発事故によって「自分たちが住んでいる町はどうなっているのか」の住民の不安や疑問の声にこたえるため、昨年12月から今年の6月までの間、倉賀野町、矢中

### 核兵器のない世界を

国民平和進行

広島と長崎に原爆が落とされてから67年、今年も8月に広島で開かれる原水爆世界大会に向けて全国津々浦々から「命の重み・尊さ」を訴えながら平和行進は続きます。7月11日藤岡の行進団は夕、高崎に引き継かれ、翌12日朝、前橋へと出発しました。両日の歓送迎集會に集まった約100人を前に副市長、市議会議員長、教育長が連帯の挨拶。行進団ペナント授与式が行なわれました。



平和行進団を歌声で送迎する清塚議員(右から2人目)と合唱する人たち=12日、高崎市役所

放射線量測定の報告を真剣に聴く参加者=6月9日



町の住民から測定要望箇所を聴いて、百か所余りを測定してきたもの。測定結果を地図化し数値を書き入れた「線量マップ」が参加者に配布され喜ばれています。その後も「測定」の問い合わせが相次いでおり、測定を継続し要望に応えていくとしています。

### 生活動向誌

4月、6月 地元の行事、集會や生活相談、地元の要望にも取り組みました。

- 4月10日 福祉常任委員会
- 4月19日 倉賀野神社春季例大祭
- 4月22日 地元放射線量測定行動 県女性後援会集會
- 5月9日 倉賀野公民館運営委員会
- 5月19日 社会保障推進協議会学習会
- 5月24日 倉賀野学童保育クラブ総会 児童数が増えたため、クラブを2か所に分けて保育を実施
- 5月22日 青少年推進協議会総会
- 5月24日 建設水道常任委員会
- 6月4日 建設常任委員会に所属、城南雨水滯水地、阿久津水処理センター、スマートインター設置工事個所などを視察
- 6月9日 議会報編集委員会
- 6月15日 多野藤岡広城市町村圏 振興組合議会
- 6月15日 放射能と原発を考えるとつどい
- 6月15日 清塚なおみ一般質問

### 編集後記

多くの皆さんから寄せられた国保税引き下げ署名。3月、6月と議会にお願いしましたが共産党を除く全会派の反対で不採択に。想い話してくれたあの顔あの声が浮かび悔しくてなりません。私は諦めません。実現するまで住民と共に粘り強く、みんなの願い、もっと大きくして議会へ運びます。

### なんでも生活相談

清塚なおみ  
TEL 347-0903

どんなことでも秘密厳守で受け付けています。お気軽に声をかけてください。

(弁護士による相談日)  
毎月第2金曜日(夜)PM6時  
第4金曜日(昼)PM1時  
要予約  
市役所市議団控え室  
電話 321-5757  
日本共産党事務所  
電話 361-4511

